

## 先生方のための徹底入試対策講座

## 第8回 センター試験から立ち直る

本稿の第5回、第6回にセンター試験対策について述べましたが、もう1月、センター試験の行われる時期です。毎年のことながら、当日は寒くならないように、それまでにインフルエンザがはやらないように、と願う次第です。

さて、センター試験が行われたあと、センター試験から立ち直るのも、受験生にとっては大変なことですね。

.....

センター試験から立ち直る——これは、センター試験がうまくいかなかった受験生の話ではありません。逆に、センター対策をじっくりと行い、それなりに高得点を取った諸君のことです。

高得点を取ったセンターのあとスランプに陥る人が少なくない

のです。2次向けの問題をやろうとしてもさっぱり解けない！考えようとしても考える気力がわかない……無理ありません。それまでの1～2か月はもっぱらセンターの穴埋め問題対策をしてきたのですから！そもそも2次とは違う発想法での勉強を強いられてきたのです。とりわけ、センター試験になじまない数学ではこのような「スランプ」が顕著に現れる生徒が少なくありません。恐れることは、それで自信を失うことです。単なる時期的なスランプですから、確実に脱却できます。

そのためには、月並みですが、2次向けの演習の大量療法が有効のようです。

- 受験生本人が自分の状況を認識すること
- 2次向けの勉強を多く続けること
- 2次まで十分時間があると楽観すること

要は、自信と勤勉と楽観をもって、調子が戻るまで頑張ることですね。

.....

スランプに陥ってもそれに気付いた生徒はまだラッキーです。それにも気付かないまま、調子がなんか変だなと不安な気持ちで2次試験に突入する生徒もいます。注意したいものです。

.....

では、立ち直った後、あるいは、立ち直りつつ、2次向けの勉強となりますが、何をすれば……というご質問が想定されますので、その点についても述べておきます。

受験生たちは、受験する大学の過去問と、これまでに勉強してきた、テキストや問題集の復習が気になるようです。もちろんそれも大切なことですが、とくに苦手な分野、不安な分野が残っていることも少なくありません。集中的にある分野を攻略するのに「何をすればいいですか？」という質問はよく受けます。今さら、という時期なのですがそういうわけにもいきません。

こうしたときには、入試問題を考え方からていねいに説明することでわかりやすく解説された参考書を、問題集のように演習に使うのが効率的でしょう。

例えば、**フォーカス ゴールド 数学Ⅰ+A, 数学Ⅱ+B, 数学Ⅲ+C** (啓林館)の「チャレンジ編」は入試の良問でかつレベルがそろっているので、ある分野に限って演習させるには良いと思います。問題集のように演習に使うのですから、まずは解答を見ないで解いてみる、そのあと解答、解説を熟読する、という具合ですね。ここでも注意しなければならないのは、全部をやろうと思わないこと、あくまで苦手分野対策です。このレベルでいいの？という質問も受けることがありますが、苦手な分野は、易問が出来なかったときが困るのです。難問は差にならない、くらいのおおらかさでまずこのレベルを確実に知ることが先決ですね。